



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 マクニカ

コード番号 7631 URL <http://www.macnica.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中島 潔

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 佐野 繁行

TEL 045-470-9870

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日

平成23年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	97,229	4.0	3,864	29.6	3,252	3.0	1,566	△27.0
23年3月期第2四半期	93,445	31.9	2,982	167.4	3,156	127.3	2,146	237.8

(注)包括利益 24年3月期第2四半期 479百万円 (△63.0%) 23年3月期第2四半期 1,295百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	88.49	—
23年3月期第2四半期	121.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
24年3月期第2四半期	109,833		59,878		53.5
23年3月期	103,305		59,719		56.6

(参考)自己資本 24年3月期第2四半期 58,775百万円 23年3月期 58,476百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
24年3月期	—	20.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	200,000	6.1	7,000	10.1	6,400	0.1	3,480	△22.3	196.57

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)」に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)」に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	18,110,252 株	23年3月期	18,110,252 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	406,878 株	23年3月期	406,749 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	17,703,466 株	23年3月期2Q	17,703,658 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項.....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
3. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	9
(5) セグメント情報等.....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、3月11日に発生した東日本大震災の影響により急激な落ち込みをみせたものの、サプライチェーン復旧を背景とした製造業の生産や販売が急回復し、またそれに伴い輸出も増勢が持続しました。個人消費におきましては、自動車の供給制約緩和や省エネ家電をはじめとした節電特需などを背景に緩やかな回復となりました。しかしながら、主要輸出先である中国や米国において景気減速傾向がみられることなどから、先行き不透明な状況が続いております。

当社の属するエレクトロニクス産業におきましては、新興国を中心にスマートフォンやタブレットパソコンの需要が増加するなどモバイルコンピューティング関連を中心とした携帯電話市場、コンピュータ市場が増勢を持続しました。民生機器市場は、震災影響の部品不足に伴うデジタル・スチル・カメラの生産停滞の解消、また、地上デジタル放送移行前の薄型テレビ駆け込み需要などにより、堅調に推移しました。産業機器市場は、新興国の自動化ニーズを背景に好調に推移し、自動車に関してはサプライチェーンの復旧に伴い想定を上回る勢いで回復がみられました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は97,229百万円（前年同四半期比4.0%増）、営業利益は3,864百万円（前年同四半期比29.6%増）、また経常利益は3,252百万円（前年同四半期比3.0%増）、関係会社株式評価損420百万円の発生により四半期純利益は1,566百万円（前年同四半期比27.0%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

（集積回路及び電子デバイスその他事業）

当事業におきましては、前半好調であった中国の携帯電話基地局向けPLD、携帯電話基地局向け通信システムやLTE基地局向けのPLDやASSPが牽引し、通信インフラ市場は堅調に推移しました。コンピュータ市場、民生機器市場は、震災に伴う生産調整の影響を受け、ノートブックパソコン向け電池パックやデジタル・スチル・カメラ向けのアナログICが減少しました。一方で、産業機器市場は、昨年からの景気回復を受けて幅広い分野向けにPLDやアナログICが好調に推移し、加えて、震災影響による駆け込み受注の増加もプラスの要因となりました。車載市場に関しては、サプライチェーンの復旧に伴い急激に回復しました。これらの結果、同事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は90,692百万円（前年同四半期比3.9%増）、営業利益は3,171百万円（前年同四半期比27.6%増）となりました。

（ネットワーク事業）

当事業におきましては、スマートフォンの拡大による通信量増加に伴い通信設備向けスイッチボードが堅調に推移しました。また、クラウド・コンピューティングの普及と事業継続対策としてデータセンターの需要が拡大し、同設備向け通信機器が伸長しました。一方、企業向けソフトウェアは、新規大型案件の需要減により減少しました。これらの結果、同事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は6,537百万円（前年同四半期比6.2%増）、営業利益は902百万円（前年同四半期比2.5%減）となりました。

（注） 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べ6,528百万円増加して、純資産は158百万円増加し、自己資本比率は53.5%となりました。

キャッシュ・フローの状況に関しましては、売上債権の増加等の減少要因があったものの、たな卸資産の減少及び仕入債務の増加等の増加要因があったことにより、営業活動によるキャッシュ・フローは10,182百万円の増加となりました。また、投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産及び関係会社株式を取得したこと等により、881百万円の減少となり、財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払を行ったことにより、355百万円の減少となりました。

以上の結果により、当第2四半期末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ8,207百万円増加し、また子会社の新規連結に伴う増加額66百万円を加えることにより、20,184百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年10月26日発表の通期の業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(「1株当たり当期純利益に関する会計基準」等の適用)

当第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日）を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

なお、この変更による影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,910	20,184
受取手形及び売掛金	35,665	37,694
有価証券	622	630
商品	35,491	31,673
その他	5,474	6,071
貸倒引当金	△133	△108
流動資産合計	89,031	96,145
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,153	3,113
機械装置及び運搬具(純額)	24	21
土地	3,866	3,866
その他(純額)	913	970
有形固定資産合計	7,958	7,971
無形固定資産		
のれん	1,770	1,655
その他	1,361	1,173
無形固定資産合計	3,131	2,829
投資その他の資産		
投資有価証券	1,160	1,152
その他	2,206	1,849
貸倒引当金	△182	△115
投資その他の資産合計	3,184	2,887
固定資産合計	14,274	13,688
資産合計	103,305	109,833
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,184	21,613
短期借入金	11,500	11,500
未払法人税等	1,409	1,114
賞与引当金	1,381	1,330
役員賞与引当金	32	9
その他	6,636	6,925
流動負債合計	36,143	42,494
固定負債		
長期借入金	4,500	4,500
退職給付引当金	2,288	2,380
役員退職慰労引当金	432	412
その他	220	168
固定負債合計	7,442	7,461
負債合計	43,585	49,955

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,194	11,194
資本剰余金	19,476	19,476
利益剰余金	30,419	31,708
自己株式	△1,089	△1,089
株主資本合計	60,000	61,289
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△30	△54
繰延ヘッジ損益	△85	51
為替換算調整勘定	△1,407	△2,510
その他の包括利益累計額合計	△1,523	△2,513
新株予約権	20	38
少数株主持分	1,221	1,063
純資産合計	59,719	59,878
負債純資産合計	103,305	109,833

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	93,445	97,229
売上原価	80,113	82,721
売上総利益	13,332	14,507
販売費及び一般管理費	10,349	10,643
営業利益	2,982	3,864
営業外収益		
受取利息	9	12
貸倒引当金戻入額	—	35
その他	348	97
営業外収益合計	357	145
営業外費用		
支払利息	112	124
為替差損	—	504
その他	71	128
営業外費用合計	184	757
経常利益	3,156	3,252
特別利益		
固定資産売却益	2	0
投資有価証券売却益	—	36
その他	22	—
特別利益合計	25	36
特別損失		
関係会社株式評価損	—	420
その他	55	23
特別損失合計	55	443
税金等調整前四半期純利益	3,126	2,845
法人税、住民税及び事業税	911	1,253
法人税等合計	911	1,253
少数株主損益調整前四半期純利益	2,215	1,592
少数株主利益	68	25
四半期純利益	2,146	1,566

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,215	1,592
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12	△22
繰延ヘッジ損益	357	136
為替換算調整勘定	△1,265	△1,226
その他の包括利益合計	△920	△1,112
四半期包括利益	1,295	479
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,338	577
少数株主に係る四半期包括利益	△43	△97

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,126	2,845
減価償却費	550	582
受取利息及び受取配当金	△14	△12
支払利息	112	124
売上債権の増減額 (△は増加)	△6,369	△2,340
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△9,035	3,778
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,286	6,741
その他	2,295	210
小計	△5,047	11,929
利息及び配当金の受取額	24	22
利息の支払額	△123	△139
法人税等の支払額	△547	△1,630
営業活動によるキャッシュ・フロー	△5,694	10,182
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△251	△198
有価証券の売却による収入	324	107
貸付けによる支出	△188	△50
貸付金の回収による収入	60	122
有形固定資産の取得による支出	△324	△326
無形固定資産の取得による支出	△270	△85
投資有価証券の取得による支出	△17	△8
投資有価証券の売却による収入	28	54
関係会社株式の取得による支出	△2,352	△509
その他	△24	12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,016	△881
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△32
長期借入れによる収入	3,500	—
長期借入金の返済による支出	△12	—
配当金の支払額	△265	△266
その他	△109	△56
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,112	△355
現金及び現金同等物に係る換算差額	△655	△738
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△6,254	8,207
現金及び現金同等物の期首残高	15,044	11,910
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	66
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	117	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,907	20,184

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	集積回路及び電子デバイスその他事業	ネットワーク事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	87,302	6,143	93,445	—	93,445
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	12	12	—	12
計	87,302	6,156	93,458	—	93,458
セグメント利益	2,485	925	3,410	—	3,410

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	集積回路及び電子デバイスその他事業	ネットワーク事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	90,692	6,537	97,229	—	97,229
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	0	0	—	0
計	90,692	6,537	97,229	—	97,229
セグメント利益	3,171	902	4,073	—	4,073

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,410
セグメント間取引消去	60
全社費用(注)	△487
四半期連結損益計算書の営業利益	2,982

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,073
セグメント間取引消去	67
全社費用(注)	△276
四半期連結損益計算書の営業利益	3,864

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。